



認証番号 0004871

EA21

2023年度 環境経営レポート

対象期間（2023年4月～2024年3月）

ミツケル化学株式会社

作成日 : 2024年6月28日

目次

	ページ
事業概要	1
環境経営組織図	2
環境方針	3
環境経営目標及びその実績①	4
環境経営目標及びその実績②	5
主要な環境経営計画の内容と取組結果の評価事業内容	6
主要な環境経営計画の内容と次年度の環境経営計画の内容	7
環境関連法規への違反・訴訟等の有無	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

1. 事業の概要

(1) 事業所名及び代表者名

ミッセル化学株式会社
代表取締役 橋本 茂

(2) 所在地

本社 : 〒135-0014 東京都江東区石島2-14
高石工場: 〒592-0001 大阪府高石市高砂2丁目3番6号
常総工場: 〒300-2521 茨城県常総市大生郷町6136-7
仙台営業所: 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-13-22
東京営業所: 〒135-0014 東京都江東区石島2-14 (今回拡大)
名古屋営業所: 〒465-0007 愛知県名古屋市名東区香坂1703
大阪事務所: 〒532-8560 大阪府大阪市淀川区新高1-8-10 (今回拡大)
広島営業所: 〒733-0002 広島県広島市西区楠木町2-2-27
福岡営業所: 〒812-0063 福岡県福岡市東区原田1-20-8

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 高石工場長: 井上 佳昭
EA21事務局 生産管理課: 矢野 智
常総工場長: 高橋 平四郎
高石工場 TEL:072-268-1181 FAX:072-268-1183
常総工場 TEL:0297-24-2535 FAX:0297-24-2537

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

・業務用床ワックス及び洗剤類・アルコール製剤類・医薬部外品類の設計・開発・製造・販売、化学品及び天然品の加工、化学原料等の輸入・販売

登録の範囲:

本社・高石工場・常総工場

仙台営業所・名古屋営業所・広島営業所・福岡営業所

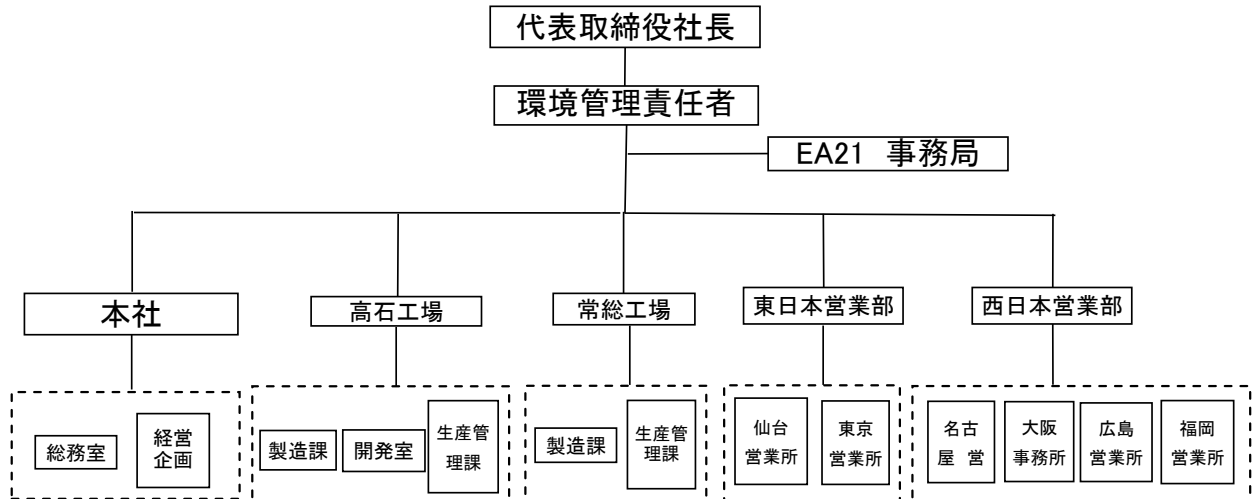
(5) 事業の規模(環境負荷の推移)

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量 (対象:エネルギー総量)	kg-CO ₂	43,531	44,366	244,349
産業廃棄物排出量	t	33.0	29.0	88.3
総排水量	m ³	752	697	8122
従業員	人	23	22	59
床面積	m ²	1,657.7	1,657.7	3,660.2

2022年4月、旧スイショウ油化工業(株)と旧コーホニイタカ(株)が合併し、ミッセル化学(株)になりました

(6) 事業年度 4月～翌3月

(7) 環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知。 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートを承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境活動レポートを確認。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックを実施。 環境目標・環境活動計画書原案を作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表を作成。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価を実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポートを作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)。 各部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況を報告。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムを実施。 自部門における環境方針の周知。 従業員に対する教育訓練の計画策定及び実施。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 各部門の特定された緊急事態対応の為の手順書作成、テスト・訓練を実施、記録を作成。 自部門の問題点を発見し、是正、予防処置を実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

2. 環境経営方針

環境経営方針

万葉の時代から「音に聞く高師の浜のあだ波は・・・」と詠まれた高石市の堺・泉北臨海工業地帯に立地する西の高石工場。

茨城県の南西部、鬼怒川下流域の広大な水田地帯にほど近い工業団地に立地する東の常総工場。

わたしたちは、これら東西の工場を有し、業務用清掃用ケミカル品の製造やお客様のご要望による各種受託加工を行っています。

わたしたちは、企業として環境にやさしい製品づくりや製造方法に積極的に取り組み、地球環境に配慮した社会を目指します。

そのために以下の活動に取り組みます。

1. 事業活動に伴い適用される環境関連の法規制及び、当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
2. 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ① 地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ② 廃棄物の削減及び適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - ③ 節水の推進に取り組みます。
 - ④ 自社の製品・サービスによる顧客の環境負荷削減に努めます。
 - ⑤ 5S活動の推進に取り組みます。
 - ⑥ 自社の製品に使用する原材料、購入する製品及びサービスについて、環境負荷と品質のバランスを考慮した製造プロセスの導入を推進します。
 - ⑦ 化学物質の適正管理に努めます。
3. この環境方針を全従業員に周知します。
4. 経営における課題とチャンスを踏まえて取り組みます。
5. 環境経営の継続的改善に取り組む事を誓約致します。

ミツケル化学株式会社

代表取締役社長

橋本 茂

2009年8月19日 制定

2022年4月1日改定①

3. 環境経営目標及びその実績①

基準年比削減率は基準年からの削減率、目標比削減率はその年の目標からの削減率です。
削減率は基準年度に対し、プラス表示は増加、マイナス表示は減少 を意味します。

サイト名	項目	単位	2022年	2023年度		判定	備考	
			(基準年度)	基準年比削減率 (目標)	目標比削減率 (実績)			
①	高石工場	電力	kwh	113,275	113,275	114,131		
		CO2排出係数 (kg-CO2/kWh)		0.434	0.434	0.434		・関西電力の2022年度調整後 排出係数は0.434を使用し、以 後固定する
		kg-CO2		49,161	49,161	49,533	×	
		kg-CO2/t		14.92		15.34	×	
		LPG	kg	649		564		
		CO2排出係数		3.00		3.00		
	kg-CO2		1,947		1,692	○		
	高石工場(小計)	電力+LPG	kg-CO2	51,108		51,225	×	
生産量		t	3,295		3,229			
②	常総工場	電力	kwh	230,373	230,373	204,260	○	
		CO2排出係数 (kg-CO2/kWh)		0.465	0.465	0.465		・日本テクノ(株)の2022年度調 整後排出係数は0.465を使用 し、以後固定する。
		kg-CO2		107,123	107,123	94,981	○	
		kg-CO2/t		35	35	31	○	
		LPG	kg	23,530		23,560		
		CO2排出係数		3.00	3.00	3.00		
	kg-CO2		70,590		70,680			
	常総工場(小計)	電力+LPG	kg-CO2	177,713		165,661	○	
生産量		t	3,040		3,086	○		
③	本社	電力	kWh	5,012	7,090	3,780		
		CO2排出係数 (kg-CO2/kWh)		0.434	0.434	0.434		大阪にあった時の電力使用量 のデータです。
		kg-CO2		2,175	3,077	1,641	○	
		kg-CO2/t						
④	全社	ガソリン	L	5,012		5,755		
		CO2排出係数 (kg-CO2/L)		2.32		2.32		大阪にあった時のガソリン使 用量のデータです。
		kg-CO2		11,628		13,352		
(高石+常総)	総生産量	t	6,335		6,315			
⑤	全社(総CO2)及び生産 量原単位	電力+LP G+ガソリ ン	kg-CO2	242,625		231,878		
		kg-CO2/t		38.3		36.7	○	

3. 環境経営目標及びその実績②

項目			単位	2022年	2023年度		判定	備考
				(基準年度)	基準年比削減率 (目標)	目標比削減率 (実績)		
廃棄物	高石工場	一般廃棄物	kg	193	213	189		
	本社		kg	291	291	543		
	常総工場		kg	1,653	1,653	1,641		
	全社合計	総量	kg	2,137	同左とする	2,373	×	
		生産量 原単位	kg	0.34	同左とする	0.38	×	
	高石工場	産業廃棄物	kg	37,834	37,384	37,384		
	常総工場		kg	50,940	50,940	50,940		
	全社合計	総量	kg	88,324		88,324	△	
生産量 原単位		kg	13.94		13.99	○		
排水量削減	高石工場	排水量	m3	824	824	1,115		
	常総工場		m3	7,298	7,298	5,925		
	全社合計			8,122	8,122	7,040	○	
化学物質	高石工場	化学物質	kg	3,067	適正管理	3,024	○	
	常総工場		kg	1,526	適正管理	1,550	○	
	全社合計		kg	4,593	適正管理	4,574	○	

3. 環境経営目標及びその実績③

		2022年度 (基準年度)	2023年目標値	基準年比削減率 (目標)	2024年目標値	基準年比削減率 (目標)	2025年目標値	基準年比削減率 (目標)
CO2排出量の削減	CO2換算(kg-CO2)	244,349	244,124	0%	244,104	-0.1%	243,860	-0.2%
一般廃棄物	kg	2,137	2,156	同左とする	2,156	同左とする	2,152	-0.2%
産業廃棄物	kg	88,324	88,324	同左とする	88,324	同左とする	88,147	-0.2%
排水量	m3	8,122	8,122	同左とする	8,122	同左とする	8,106	-0.2%
化学物質	kg	4,593	適正管理	同左とする	適正管理	同左とする	適正管理	同左とする

4. 主要な環境経営計画の内容と取組結果の評価並びに次年度の環境経営計画の内容

① 主要な環境経営計画の内容と取組結果の評価

項目	取組内容	達成率	評価	結果の評価	
CO ₂ 排出量の削減	電力co ₂ の削減 (高石工場)	99.3%	×	夏場の原単位が高くなり未達成となる	
	電力co ₂ の削減 (本社)	187.6%	○	11月より本社移転に伴いデータ採取できなくなり大幅な達成率となった。	
	電力co ₂ の削減 (常総)				112.9%
	ガソリンco ₂ の削減 (本社)	1.エコドライブの手順書作成 2.手順書の遵守	92.0%	×	月間目標、年間目標ともに未達成
	LPG(ボイラー)の削減 (常総工場)	1.不要時の電源OFF	99.9%	×	年間目標は、ほぼ達成。
	LPG(フォークリフト)の削減 (高石工場)	(フォークリフト燃料限定) 1.急発進急加速の禁止 2.空ぶかしの禁止	115.0%	○	年間目標をクリアした。
	CO ₂ 排出量の削減	電力・ガソリン・LPG(ボイラー)・LPG(フォークリフト)の消費量削減により、CO ₂ の削減を目指す	105.3%	○	全社として目標値をクリアとなった。
廃棄物	一般廃棄物の削減 高石工場	1.ゴミの分別を行う 2.再資源化の徹底	112.9%	○	年間目標をクリアした。
	常総工場		100.7%	○	年間目標をクリアした。
	一般廃棄物の削減 (本社)	53.5%	×	本社移転に伴い排出量の増加となった。	
	産業廃棄物の削減 高石工場	1.リサイクルの為の分別(バツカン)	100.0%	○	年間目標をクリアした。
	常総工場	1.リサイクルの為の分別	100.0%	○	年間目標をクリアした。
排水量削減	排水量の削減 高石工場	1.水道水を出しすぎない 2.止水を行う 3.節水表示を行う	73.9%	×	暑さ対策として生産棟の屋根に散水を行っているので排水量は増加している。屋外タンクのオーバーフロー弁の故障が見つかり修理(3月)
	排水量の削減 常総工場	1.水道水を出しすぎない 2.止水を行う 3.節水表示を行う	123.2%	○	年間目標をクリアした。
化学物質	化学物質の管理	1.PRTR該当物質を年度末に把握する 2.棚卸し時の化学物質の管理(毎月末)	適正管理	-	適正管理
サイ製品・ビス	5S活動の促進(全社)	1.全員参加の全体掃除1回/月実施 2.環境活動に関する5Sの認識 3.営業車の美化	100%	○	毎月問題なく実施できている。

4. 主要な環境経営計画の内容と取組結果の評価並びに次年度の環境経営計画の内容

② 次年度の環境経営計画の内容

項目	取組内容	削減目標	次年度の目標など	
CO2排出量の削減	電力CO2の削減 (高石工場)	1. 昼食時及び不使用部屋消灯 2. 不要時PCの電源OFF 3. エアコンの設定温度を守る (夏:27℃、冬:21℃)	-0.1%	近年の夏場の気温は高めであるが-0.1%で活動を行う
	電力CO2の削減 (常総)		-0.1%	活動が3年目となり取組内容も定着してきているので-0.1%で活動を行う
	ガソリンCO2の削減 全社	1. エコドライブの手順書作成 2. 手順書の遵守	-0.1%	全社の社用車燃料CO2削減
	LPG(ボイラー)の削減 (常総工場)	1. 不要時の電源OFF	-0.1%	取組内容を実施を継続する
	LPG(フォークリフト)の削減 (高石工場)	(フォークリフト燃料限定) 1. 急発進急加速の禁止 2. 空ぶかしの禁止	-0.1%	取組内容を実施を継続する
CO2排出量の削減	電力・ガソリン・LPG(ボイラー)・LPG(フォークリフト)の消費量削減により、CO2の削減を目指す	-0.1%	高石工場の原単位を増加させたので変更する	
廃棄物	一般廃棄物の削減 高石工場	1. ゴミの分別を行う 2. 再資源化の徹底	基準年を維持	取組内容を実施し維持する
	常総工場		基準年を維持	取組内容を実施し維持する
	一般廃棄物の削減 (本社)	200.0%	本社移転に伴い実績より廃棄量が増加すると推測して設定する	
	産業廃棄物の削減 高石工場	1. リサイクルの為の分別(バツカン)	基準年を維持	生産量に影響されるが基準年を維持する
	常総工場	1. リサイクルの為の分別	基準年を維持	生産量に影響されるが基準年を維持する
排水量削減	排水量の削減 高石工場	1. 水道水を出しすぎない 2. 止水を行う 3. 節水表示を行う	15.0%	暑さ対策として生産棟の屋根に散水を行っているため排水量は増加しているが現状数値を基準として活動する。
	排水量の削減 常総工場	1. 水道水を出しすぎない 2. 止水を行う 3. 節水表示を行う	基準年を維持	取組内容を継続し基準年を維持する
化学物質	化学物質の管理	1. PRTR該当物質を年度末に把握する 2. 棚卸し時の化学物質の管理(毎月末)	適正管理	適正管理
製品・サービスの	5S活動の促進(全社)	1. 全員参加の全体掃除1回/月実施 2. 環境活動に関する5Sの認識 3. 営業車の美化	12	5S活動を充実させる。

5. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規等

高石工場

	法律名	遵守すべき事項・内容	遵守状況	
1	廃棄物処理法	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 マニフェスト管理	電子マニフェスト管理	遵法
2	PRTR法	第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出	報告書 2023. 5. 16	遵法
3	浄化槽法	保守点検・定期検査	点検 2023.4.11	遵法
4	フロン排出抑制法	回収依頼書の交付 簡易点検	3ヵ月毎に簡易点検・記録	遵法
5	消防法	危険物保管の指定数量以上の許可申請 危険物保管の指定数量以上の危険物取扱者の届出 消防用設備等の点検と報告	消防用設備等の点検と報告書 2024.1.30	遵法
6	水質汚濁防止法	定期点検 高石市環境保全協定(排出基準)	点検日 : 2023.02.10 濃度計量証明書 : 2023.4.26受領	遵法
7	毒物及び劇物取締法	毒物劇物製造業登録	2025年1月まで	遵法
8	大阪府環境保全に関する条例	大気保全に関する規制 水質保全に関する規制 化学物質の適正管理	化学物質の適正管理 2023年9月20日	遵法
9	騒音規制法	高石市環境保全協定(騒音測定結果報告)	「高石市環境保全協定」参照	遵法
10	高石市環境保全協定	災害防止計画・実績 公害防止計画・実績 汚染物質の排出計画・実績 燃料使用計画・実績 産業廃棄物処理計画・実績	計画書 2023.4.10 提出済み 実績書 2023.5.1 提出済み	遵法
11	安衛法第65条	作業環境測定6ヶ月以内に1回実施	実施日 2023年9月14日 2024年3月27日	遵法
12	アルコール事業法	アルコール許可使用者許可事項変更許可申請書届	2020年6月4日	遵法

常総工場

1	廃棄物処理法	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 マニフェスト管理	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	遵法
2	毒物及び劇物取締法	毒物劇物製造業登録	2026年4月まで	遵法
3	騒音規制法	特定施設(種類毎の数量)設置届(常総工場)	コンプレッサー届出済	遵法
4	大生郷工業団地公害防止協定書	排水は次の基準を満たすこと ・温度 45℃以下 ・水素イオン濃度:5.8~8.6 ・生物的化学的酸素要求量:300mg/L以下 ・浮遊物質量:300mg/L以下 ・ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量):5mg/L以下	茨城県環境管理協会採水月2回 水質測定記録表日次	遵法
5	アルコール事業法	アルコール許可使用者許可事項変更許可申請書届出	2020年6月4日	遵法
6	フロン排出抑制法	回収依頼書の交付 簡易点検	3ヵ月毎に簡易点検・記録	遵法

(2) 違反・訴訟等の有無

- ・自社の事業活動に関する法令違反はありません。
- ・関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間なく、訴訟もありません。

環境経営方針

取組内容を見直しこのままで継続していく

環境経営目標及び環境経営計画

11月には大阪本社を東京本社に移転し活動拠点の変更もあり変化がありました。活動内容の引継ぎもスムーズに行えたと思います。概ね目標達成していますが一般廃棄物は未達成となりましたが本社移転があり状況の変化の為、適切な目標値を設定し活動を行って下さい。

引続き高石工場、常総工場も取組内容を活発に行い目標達成を目指しましょう。

実施体制

活動体制は変更せずの方針に沿って活動を行う。

「環境負荷の低減」「省エネルギー」並びに「環境対応製品、高付加価値製品の開発」に会社全体で取り組みながら

「環境と経営」両面の効率性も目指してまいります。

次回発行予定：2025年6月